



# かがわEMC技術研究会 ネクスト香川「EMC研究会」の開催報告

## ◇電磁波理論の基礎とシールド対策設計◇

かがわ EMC 技術研究会(事務局:公益財団法人かがわ産業支援財団内)では、H30 年度の EMC 研究会を下記のとおり開催いたしました。

今回は兵庫県立大学 名誉教授の畠山健一氏をお招きし、導電材を用いる電磁シールドの考え方や取り扱い方について、具体的なモデルを事例にシールド効果の計算方法や特性グラフなどを交えて、分かり易く解説いただきました。また、かがわ EMC 技術研究会の古賀会長より、「磁流とスロットアンテナ」と題して金属筐体から漏れる電磁波の原因が磁流の発生に起因するというのを、分かり易く解説いただきました。

今回の参加者は県内の会員企業や関係する行政機関、大学・高等専門学校及び聴講を希望される県外企業などから 64 名の方が出席され、EMC に関する情報を得るため、熱心に聴講されていました。

### 記

- **開催日時** 平成 30 年 6 月 5 日(火) 13:00～17:00
- **会場** 香川産業頭脳化センター 2 階「一般研修室」  
〒761-0301 高松市林町 2217 番地 15
- **主催** かがわ EMC 技術研究会(会長 岡山大学名誉教授 古賀 隆治)
- **対象** 研究会会員、他
- **内容**

1. 挨拶	かがわEMC技術研究会 会長 岡山大学名誉教授 古賀 隆治
2. かがわ EMC 技術研究会 総会	かがわ EMC 技術研究会 事務局
3. 講演 1 「磁流とスロットアンテナ」 電磁波の放射源を完全に金属筐体で囲むと電磁波は閉じ込められる。しかし、筐体に穴があると電磁波は漏れ出る。その原理について、分かり易く説明された。	かがわEMC技術研究会 会長 岡山大学名誉教授 古賀 隆治 氏
4. 講演 2 「金属を含む導電材を用いる電磁シールドの考え方」 各種電磁シールドの手法から電波伝搬の考え方および導電板の取り扱い方などを基本事項とし、電子機器金属筐体でのシールド対策としての低周波共鳴の考え方や磁界漏えい対策と金属板厚の関係、大電力機器筐体での放熱用開口を用いた導波管の遮断状態と筐体寸法の間係などを分かり易く解説いただいた。	兵庫県立大学名誉教授 (特任教授、非常勤教授) 畠山 賢一 氏



講演する古賀会長



講演する畠山氏



講習会の模様